

辰野町保育園個別施設計画（案）に対する意見と回答

該当項目	意見の内容	理由	回答・処理方針
P 1	<p>第1章はじめにの全文について この計画策定の理由が「公共施設の統廃」にあることがわかります。正直に掲載されたと考えますが、町民の立場に立ったより良い保育にするための整備計画に見えませんか。</p>	<p>利用者・町民の立場立った、必要とされる保育行政、子どもにとってより良い保育環境を整備するための計画とは思えません。</p>	<p>計画では保育環境を整備するための1つの手段として、保育園の統廃合があげられています。町の厳しい財政状況の中、人口減少や少子高齢化が進展する将来を見据えて、整備計画の策定を行いました。インフラを総合的にマネジメントすることで、トータルコストの縮減や予算の平準化を図り、持続可能な未来を実現するための個別施設計画としました。また、本計画は5年毎に見直しを行っていきます。</p>
P28	<p>今後のあり方1：保育園の統廃合と保小連携による質の向上の両立について 「施設を集約することでより良い環境をつくる」とありますが、現在の環境では何がいけないのか。現在も小学校と交流はしているはずです。</p>	<p>老朽化による修理が必要なことは分りますが、施設の集約でより良い環境はどんな環境なのかわかりません。</p>	<p>辰野町の保育園を取り巻く環境は、園児数の減少や保育ニーズの多様化に加え、施設の老朽化が進み、一部の園で再整備が必要な状況となっています。再整備の一つの構想として、小学校と保育園との複合化を考えた場合に、小学校就学時の不安（小1プロブレム）の解消や保育士と教員の連携強化、小学生と園児が共に学び合うことによる相乗効果が期待できます。</p>

P28	<p>「園の建て替えや大規模改修が必要となった場合は、他園との統合や校区の小中学校との複合化を検討することを原則」とあります。大事なことは、「地域住民・利用者の意見を様々な方法で集約し、検討を進めることを原則」とすべきと考えます。</p>	<p>統合ありきの原則に思えます。</p>	<p>この個別施設計画や基本構想を策定するにあたり、令和2年11月に町内の小学生以下の保護者に対しアンケート調査を実施しています。回収率は73.5%で、コロナ禍で直接声を聞くことは無理でしたが、自由記入欄にはリアルなご意見をいただくことができ、計画に反映させることができました。今後、各保育園の適正配置を具体的に検討していくためには、利用者や町民への説明会・意見交換会を行ったうえで、基本計画・基本設計を策定し、町民と協働で今後の保育園のあり方を検討していきます。</p>
P28	<p>今後のあり方3：多様性、人材確保、財政負担の軽減に向けた民間活力の導入について 「多様なニーズに対応する特色ある園の運営を行なえることができるように、民間活力の導入を検討」とありますが、公営では多様なニーズに対応することができないのでしょうか。民間活力の導入＝民営化・民間委託でないようにしてほしいです。</p>	<p>民間ならば保育士が集まるという保障はなく職員の待遇や運営の不安定など問題は山積しています。公営だから安心して預けられる。公立である意義は重要だと考えます。</p>	<p>人材確保や財政負担軽減策の一つとして、民間活力の導入が考えられますが、このことにより町内保育園を民営化・民営委託するものではありません。民間活力の導入を進めるにあたっては、公立保育園と私立保育園の役割を明確にするとともに、大規模事業所などとの連携による事業所内保育など、多様な保育ニーズに対応できるよう民間のノウハウを活かした保育サービスを検討します。</p>

P31	<p>保小連携により期待される効果について連続性のある保育・教育の充実とありますが、現在辰野町内どの保育園に通園してもよいとなっています。親の都合で保育園が選ばれているのが現状です。その部分はどのように考えたらよいのでしょうか。学区内の保育園に行くようになるのでしょうか。</p>	<p>全て保育園が町内全ての小学校との連携になるのか、学区内の保育園だけの連携になるのか。生活環境の変化への対応は、子どもは柔軟だと考えます。大切なことは、子ども一人一人の発達状況を小学校へ申し送りすることだと考えます。</p>	<p>今までどおり町内どの保育園への通園も可能です。学区内の保育園へ行く必要はありませんが、不安を感じる保護者にとっては学区内にある保育園に通う方が小1プロブレムの解消に繋がると思います。それ以上に地域全体で保育園への協力意識を高める効果が期待できます。また、学区内の保育園と小学校との間で、幼保小連絡会を定期的に関催し連携を図っています。</p>
P45	<p>(4)今後のあり方 ①民間活力の導入に向けた検討について 「官民連携による保育事業の担い手の確保や保育園の民営化による運営・維持管理の負担軽減等を検討していく必要がある」とありますが、下記の割合を見ても、私立保育園にしなくてはいけない理由がわかりません。わかるのは「町がお金をかけない保育」です。現在、病児・病後児保育を他町の法人へ委託していますが、町として町内に事業所をつくるのが望まれているのが現状です。</p>	<p>大きな統廃合の理由、公共施設の統廃合で、経費削減を理由に、教育の次は保育を切り捨てるやり方は到底町民のためとは考えられません。 はっきり言えるのは、民営＝営利目的の運営でなければやっていけない、ということだと考えます。 民営化になり保育料が上がれば、預けられない家庭も出てきます。 民間給与になれば保育士はますますなり手が見つかりません。 公立保育園をつくってほしいと都市部では要望があると報道さ</p>	<p>P45～P46の公立保育園と私立保育園との比較は、建設費用や運営費用について試算したものであり、このことにより町内保育園を民営化・民営委託するものではありません。 また、民営化になり保育料が上がるとのお考えですが、3歳以上児に関しては私立でも公立でも保育料は無償です。 病児・病後児保育の利用に関しては、現在、箕輪町に委託をしています。辰野町の令和2年度の利用は半日利用者1名1回、1日利用は14人31回でした。南箕輪村や伊那市の方も利用していますが、辰野町は半数の利用しかありません。隣町に事業所があるので利用していただきたいと考えます。</p>

		<p>れています。町内では、現在ある公立を廃止してまで民営化する要望はないと考えます。なぜ公立なのか、安心して預けられるからです。福祉行政の要の保育に責任を持つために公立であることの意義は大きいと考えます。</p> <p>幼稚園と保育園は別物です。</p>	
P59	<p>第6章実施計画について</p> <p>1. 個別計画について</p> <p>個別計画内の羽北保が第Ⅲ期計画となっておりますが、第Ⅳ期にすべきと考えます。</p> <p>また、業の下段※3中央・新町・羽北については、第Ⅲ期に統合の組み合わせや辰野西小への複合化を含めて検討、とあります。</p> <p>※4として羽北は第Ⅳ期に辰野南小への複合化を検討する、とすべきではないかと考えます。</p>	<p>中央、新町保は西小学区なのでわかりますが、羽北は南小学区です。5億円以上かけて40年持たせる改修を行う南小学区の羽北保を中央・新町・と同列に考えるべきではないと考えます。</p>	<p>羽北保育園は昭和56年に建設された建物で一度耐震化に伴う大規模改修を実施していますが建物の老朽化が激しく、改修箇所が大きいのが現状です。そのため羽北保育園については、辰野南小学校との複合化は検討せず、他の園との統合や土砂災害警戒区域外での建替えを検討することとしています。</p>
P59	<p>4. 個別の事業推進に向けて</p> <p>今後～検討していきます。の部分は、必ず残して頂きたい文章だと考えます。</p>	<p>保育園の充実は、子育て世代、若年世代の居住場所選択の重要な部分と考えます。利用者や住民から広く意見を聞いて計画を立てていただきたいと考えます。</p>	<p>辰野町第6次総合計画にもありましており、「共創」によるまちを目指しておりますので、広く意見をお聞きし事業を推進していきたいと考えています。</p>